

<ひとこと> 昨年は大変お世話になりました。今年もよろしくお願ひ致します。

## パーソナルサポートサービスは「存知ですか？」



「さまざまな生活上の困難に直面している方に対し、個別的・継続的・包括的に支援を実施する「パーソナルサポートサービス（PSS）」（内閣府）は「社会的包摂政策に関する緊急政策提言」を受け、モデルプロジェクトの第三次分の募集を終了しました。これまでに全国19地域で実施されています。このPSSの5つの理念は、①本人と向き合う支援、②本人の個別状況に合った支援、③継続的な支援、④予防的な支援、⑤本人をとりまく環境への働きかけ」とされています。

1. 「今回の東日本大震災の影響もあり、社会的排除リスクの連鎖・蓄積を止めるための包括的・予防的な対応の重要性が増している」ことから、PSSは「社会的排除リスクの高い者を幅広く対象としたモデル事業として継続

発展させ、これらの取組の制度化に向けた検討を引き続き進めていく」とされています。「社会的排除リスクの高い者」とは、

- ・ 様々な生活上のリスクが重なり、自分の力だけで必要な支援を活用して自立することが難しい。
- ・ 対象や制度別に構築した支援体制では、複雑に絡み合った問題の全体を受け止めて支援することが難しい状態であり、家族関係をめぐり問題・精神保健をめぐり問題・経済的な問題などが、重なり合った領域がPSSを必要とする領域とされています。

長く引用しましたが、この事業の理念は、千葉県が設置している「中核地域生活支援センター

これは入院されている方の約20%に当たることとです。地域移行の先進地域である北海道でも、平成18年から5年かけてようやく50人の方がこの事業で退院されたとのことで、長年入院されている方の退院が難しいことを物語っています。グループワークでは、ご本人の問題（退院への意欲）、医療と福祉の認識（視点）の違いという2つの問題がわかりました。特に若く発症されて入院生活

## 第2回柏市地域移行支援強化事業研修会

12月12日に東葛地区で地域移行に関わる方々が集まり研修会が開催されました。当日は野田で地域移行事業を行っている「のだネット」の方も参加され、柏市と併せて現状の取り組み報告が行われました。その後、「なぜ地域移行なのか・私たちに何ができるのか」というテーマでグループワークが行われました。厚生労働省の「患者調査」によると最新の平成20年現在で千葉県内で約2,400人の方が退院可能であると報告されています。

なにより重なるもの。今回の募集では、「就労につながる者だけでなく、稼働能力を有しない者も含め、社会的排除リスクの高い者を幅広く対象とする」となったことで、より中核の事業対象とするものに近づいたといえます。国も県も必要な事業などの認識が、国のモデル事業から本格事業への移行へと繋がるように、モデル事業の成果と課題を整理してほしいと強く望みます。（□内は引用）

## 家庭教師相談員等ネットワーク推進協議会研修

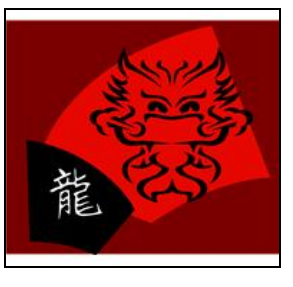
12月8日さわやかちば県民プラザにて

元子どもと親のサポートセンター次長、現さくら教育研究所所長の小澤美代子さんを講師に「子どもを理解する視点」見立ての重要性を考える」というテーマで講演がありました。

主に不登校状態の子どもを理解する上での視点として、①子ども自身、②家庭、③学校・地域があるということです。

## 新年明けましておめでとう

昨年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくおねがいいたします。



- 永桶 静佳
- 吉武 信穂
- 白田 東吾
- 川野 優
- 中野 さおり
- 佐々木 誠子

しか知らない方については、「地域での生活はリスクや不安もあるけれど素晴らしいものだ」と、どのようにして理解いただくかが支援者の課題ではないかと。医療と福祉の認識の違いでは、医療が考える退院の条件と福祉が考える条件が違っている。例えば医療が心配されている

ことが実は福祉では福祉でカバーできると認識していたり、さらに密なやりとりが必要だと。この地域移行の根本は、障害のある人もない人も共に暮らせることだと思えます。単に退院するということではなく、地域でノーマライゼーションをどう進めていくか、地域の方との関わりも重要なと感じました。



①子ども自身の問題には、心理的対応が必要で、本人の過敏さ・不安・発達障害などの要因が考えられ、②家庭の問題には、福祉的対応が必要になり、家庭不和（離婚や再婚、虐待）などの要因が考えられ、③学校・地域の問題はやはり学校での対応が必要で、友人との関係、学習のつまづきが主な要因と考えられます。子ども自身や家庭、または学校がどのような問題で困っているのか、その背景にどのような事情が絡まっているのか上記3つの側面から丁寧に把握

握っていくことが重要です。さらに相談者、特に今まで頑張ってきたられたご両親の気持ちをしっかりと受け止めて理解することがより一層重要であることをあらためて確認しました。また、見立ては3カ月程度を単位に見直していくことが必要であるとの話があり、このことも今後の支援に活かしていきたいと思えます。

また、困り事もその要因も複数あり、それが複雑に絡み合っているようなこともあります。そのような場合には、問題の核心を追求しそれを解決しようとしがちですが、核心ではなくても一つの問題を解決していくことで少しでも状況が改善され、それが良い循環を生むことがあるとのことでした。

支援をしているとどうしても問題の核心を解決しなければと思ってしまうがちですが、ご本人やご相談者の思いを理解しできるだけ広い視野で色々な可能性を考える、鳥の目と虫の目両方を持っていたいと思えます。



かしわ  
柏うお～か～  
あいネットが気になる街の事業所にお邪魔します。

生活介護事業所 ザザビー・ドゥ



今回は社会福祉法人彩会の『生活介護事業所ザザビー・ドゥ』を取材しました。  
増尾駅から徒歩7分の場所にザザビー・ドゥの事業所(分場を含め2か所)があります。  
職員の川名さん、磯さんにお話を伺いました。

Q どんな方が対象ですか？

自立支援法における生活介護の対象となる方が通う場所です。

Q どんな事を大切にしていますか？

利用者の方を支援することはもちろんのこと、色々な経験を通して社会参加を目指し個々に応じた「自立した生活」を地域社会において営むことができるようサポートしています。小規模の事業所ならではの地域密着型の法人の在り方があります。

〈活動内容〉

- ・外出の計画を立てたり、自分達のやりたい事を提案、話し合っ決めてドゥ会議というものをしています。
- ・係りの仕事。電話番、食器洗い、買い物、掃除等、自分達でできることは自分達でやっています。
- ・サークル活動。お茶会、絵画教室、パソコン教室があります。
- ・トーンチャイム。トーンチャイムという楽器を演奏、練習を重ねています。地域でのイベント、各種コンサートにも参加しています。

●取材中、利用者の皆さんは広報誌の折り込み作業などを和気あいあいとされていました。

今回は上記事業所の他にもリサイクルショップzazaby、地域活動支援センター地域zazabyにお邪魔させていただきました。リサイクルショップでは地域の方がボランティアで店員をしており、地域の方達が集える場所になっています。また、地域の方がふらっと立ち寄り利用者と一緒に散歩に行く時も多いそうです。

「事業所が一か所ではなく、小人数が集う場所が点々とあることで地域に馴染み、受け入れられています。これからもこの形は大切にしていきたいです」とサービス管理責任者の川名さん。障害があるなしに関わらず、人と人の繋がりの暖かさを感じた取材となりました。



住所・・・千葉県柏市加賀3-19-18 \* 電話・・・04-7172-0300



## おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707 FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
～ユニバーサル就労ネットワーク 会議ちば・設立総会&記念シンポジウム～ 「障害のある人もない人も地域で働く ということ」 講師:村木 厚子さん (内閣府政策統 括官 共生社会政策担当)	2012. 1/14(土) 14:00～18:00 (受付 13:30～)	千葉県文化会館小ホール (千葉市中央区市場町 11-2)  千葉モノレール県庁前駅 徒歩7分 JR本千葉駅 徒歩10分	入場無料	必要	申し込み・問い合わせ先: ユニバーサル就労ネットワーク会議 千葉事務局 生活クラブ風の村企画部 (担当:平田・橋本・黒澤)  TEL:043-309-5812 FAX:043-481-2177
～NPO 法人ホスピスケアを広める会公開 講演会～ 生誕100年記念・最新作上映 「マザー・テレサと生きる」 講演会:「今、マザー・テレサに学ぶ」 講師:千葉 茂樹氏 (映画監督)	2012. 1/21(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)	アミュゼ柏プラザ (柏駅東口徒歩7分)	1000円 (学生500円 障がい者無料)  ※当日支払い	必要 定員150 名	申し込み・問い合わせ先: NPO法人ホスピスケアを広める会  TEL/FAX:04-7163-0634 Mail:zaitakucare04@jcom.home.ne.jp  後援:柏市・柏市社会福祉協議会 他
～ユニバーサル就労シンポジウム～ パネルディスカッション「ユニバーサル 就労の広がりをつくるために」 パネラー:西嶋 美那子 さん(元日本経 団連障害者雇用アドバイザー) 池田 徹 さん(ユニバーサル志縁 社会創造センター代表理事)	2012. 1/28(土) 14:00～17:00  17:10～19:00 (懇親会)	田町交通ビル6階ホール  JR山手線・京浜東北線 「田町駅」から徒歩5分 都営地下鉄三田線「三田」 駅から徒歩7分	必要 1000円 (資料代)  4000円 (懇親会参加 費。当日お支払 い)	必要	申し込み・問い合わせ先: 一般社団法人 ユニバーサル志縁社会 創造センター  TEL:03-3456-1610 FAX:03-6808-3788 Mail:info@u-shien.jp